

令和4年10月28日

各位

岩手大学農学部共同獣医学科  
教授選考委員会  
委員長 佐藤 洋

共同獣医学科 教授候補者の公募について

謹啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、岩手大学農学部共同獣医学科では教授候補者を下記により公募することになりました。つきましては、貴機関に適切な候補者がおられましたら、応募くださるよう周知方ご高配を賜りたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外の方でも適任と思われる方がいらっしゃいましたら、ご推挙いただければ幸甚に存じます。

謹白

記

1. 公募する教員の職名及び人数  
共同獣医学科 獣医寄生虫学 教授 1名

2. 分野の概要及び職務の内容

本学共同獣医学科の教育分野は、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、小動物臨床獣医学及び大動物臨床獣医学の5分野からなりますが、今回の公募は、病態獣医学分野の獣医寄生虫学及び獣医寄生虫病学を担当する教授を充足するためのものです。

主たる担当科目は原虫・原虫病学、蠕虫・蠕虫病・衛生動物学、寄生虫学実習、野生動物学ならびに教養教育科目・学部専門基礎科目（分担）です。

なお、東京農工大学農学部共同獣医学科の獣医寄生虫学に関連する講義や実習について、同分野の他研究室と連携して担当します。また、農学部附属動物医学食品安全教育研究センターならびに産業動物臨床・疾病制御教育研究センターの研究者として兼任頂く場合があります。

3. 応募資格

- (1) 人格・識見に優れ、学部学生及び大学院生の教育・研究指導に熱意を有する方。
- (2) 博士の学位を有し、獣医寄生虫学・獣医寄生虫病学に関する広範な知識と優れた研究能力を備えている方。
- (3) 学部、学科及び大学院、附属施設の運営に積極的に参加できる方。
- (4) 岩手大学が実施する地域貢献に意欲のある方。
- (5) 日本国の獣医師免許を有する方が望ましい。

4. 採用予定日

令和5年4月1日

5. 提出書類（応募書類は原則として返却しません）

- (1) 履歴書（様式自由、写真貼付のこと）
- (2) 研究業績（別記様式）
- (3) 主要な論文別刷10編
- (4) 主な研究概要（2,000字程度）
- (5) 教育・研究に対する抱負（1,000字程度）

- (6) 推薦者がある場合は推薦状、あるいは人物照会が可能な方の連絡先（様式自由）
- (7) 研究代表者として過去に得た研究資金の獲得状況

## 6. 選考方法

選考過程において応募者の来訪を求め、面接などを実施することがあります。その際の旅費等の経費は自己負担になります。

\*岩手大学はダイバーシティを推進しています。その一環として、本公募に関し以下の取組を実施しています。

### 【女性教員採用促進に関する取組】

- ・ 業績及び資格等に係る評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。
- ・ 本学に赴任する女性教員に対して、研究費として以下の定着支援経費を支給します。  
教授・准教授は 50 万円（2 年間）
- ・ 産前産後休暇、育児休業及び介護休業を取得していた場合（性別不問）には、選考の過程で考慮します。
- ・ 両住まい手当制度など、女性等多様な研究者の増加・定着のための支援策を行っております。各種支援制度についてはこちら (<https://www.iwate-u.ac.jp/gender/kkshien/support.html>)、学内保育所についてはこちら ([https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/wlb\\_hoikusho.html](https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/wlb_hoikusho.html))、学内保育スペースについてはこちら ([https://www.iwate-u.ac.jp/gender/parun/parun\\_guide.html](https://www.iwate-u.ac.jp/gender/parun/parun_guide.html)) をご覧ください。

## 7. 提出期限

令和4年12月9日（金）必着

## 8. 応募書類提出及び問い合わせ先

### (1) 応募書類提出先

応募書類は、次の電子メールのメールアドレスへの送信により受け付けます。

E-mail: [satohsss@iwate-u.ac.jp](mailto:satohsss@iwate-u.ac.jp)

岩手大学農学部共同獣医学科  
教授選考委員会委員長 佐藤 洋

応募書類は、それぞれPDF形式のファイルにしてメールに添付の上、送信してください。添付のファイルサイズは、合計で20MB以内としてください。メールの件名は「共同獣医学科教員応募（応募者氏名）」としてください。

メールの受領後3日以内（土日祝日などを除く）に、本学から受領した旨の返信をしますので、返信がない場合は、下記にお問い合わせ下さい。

### (2) 問い合わせ先

岩手大学 農学部 共同獣医学科 教授選考委員会委員長 佐藤 洋

TEL: 019-621-6213

E-mail: [satohsss@iwate-u.ac.jp](mailto:satohsss@iwate-u.ac.jp)

### (3) その他

応募書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用しません。

応募書類は返却いたしません。

## 9. 待遇

### (1) 任期

なし

(2) 給与・手当

年俸制。基本給（毎月年俸月額）のほか、業績給（期末・勤勉手当相当額など）を支給。退職手当は退職時に支給。

また、本学の規定に基づき、支給基準に該当する場合は、扶養手当、住居手当、通勤手当などを支給。

## 「研究業績」の作成について

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌<sup>\*1</sup>、(b)紀要<sup>\*2</sup>、(c)プロシーディングス、E. その他<sup>\*3</sup>、F. 報告書・事業報告書等<sup>\*4</sup>、G. 特許・設計等、H.国際学会発表<sup>\*5</sup>、I. 国内学会発表<sup>\*5</sup>の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り返してください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本語の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

\*1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。

\*2：試験場報告、研究所報告等を含む。

\*3：商業雑誌、資料等を記載する。

\*4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。

\*5：最近5カ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）

\*6：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。

\*7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

\*8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。

\*9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。

\*10：Journal は略記する。

\*11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

### 〈記載例〉

#### 研 究 業 績 (著書・学術論文等)

##### A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)  
農学について. ○○出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)  
北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp.10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)  
トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp.20-30.
4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)  
Agriculture in Japan, “Agricultural Sciences”(Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

##### B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)  
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)  
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

##### C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)  
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)  
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)  
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)  
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)  
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)  
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)  
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)  
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp.35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)  
イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県) , pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)  
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)  
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)  
岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.